

中学生まるびいアートスクール「考え方を考える」

こたつ座談会

「ずる賢いのは悪い事？ ～文化人類学と芸術から学ぶ不確実な世界でのサヴァイバル」

アフリカのタンザニアで古着の行商人をしていた文化人類学者の小川さやか、
椿昇、シロくま先生とともに複雑な現代社会をどうサヴァイバルしていくかを考えます。



小川さやか (右)



昨年度の「こたつ座談会」風景

アフリカのタンザニアで古着の行商人をしなが、市井に暮らす人々の生活について研究してきた立命館大学先端総合学術研究科・准教授で文化人類学者の小川さやかを講師に迎え、現代美術作家の椿昇、アートディレクターのシロくま先生が、こたつを囲んで座談会を行います。

座談会のテーマは、「ずる賢いのは悪い事？ ～文化人類学と芸術から学ぶ不確実な世界でのサヴァイバル」。「自分のもの」と「他人のもの」の境界が曖昧で、お互いにだまされながらもしたたかに商売を営むタンザニアの人々の生活から、閉塞感が漂う現代社会を生きるための叡智を学びます。

貴媒体にて、事前告知や当日取材のご協力を賜りますようお願いいたします。

イベント名	中学生まるびいアートスクール こたつ座談会「ずる賢いのは悪い事？ ～文化人類学と芸術から学ぶ不確実な世界でのサヴァイバル」
日時	2019年1月6日(日) 14:00～15:30(開場13:45)
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
料金	無料
定員	100名 ※事前予約不要、先着順
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
共催	金沢市中学校文化連盟
後援	金沢市教育委員会
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL 076-220-2800

※本座談会は、中学生まるびいアートスクール「考え方を考える」「魔法のこすちゅーむ展」(2019年1月4日～1月14日開催)の関連イベントとして実施されます。

取材申込み／問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:落合、石川(広報室)、事業担当:木村(交流課)、山下(学芸課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



中学生まるびい アートスクールとは？

金沢市内の中学校を対象に、アーティスト・学校・金沢 21 世紀美術館が協力して美術鑑賞・制作のワークショップを行うプログラムです。参加する中学生が、ワークショップを通じて、いろいろな感じ方、見方、考え方、表現の仕方があることを理解する力や他の人を思いやる想像力、そして生きる力につながる創造力を養うことを目的としています。

座談会出演者 プロフィール

小川さやか

立命館大学先端総合学術研究科・准教授。1978 年生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科指導認定退学。博士（地域研究）。日本学術振興会特別研究員、国立民族学博物館研究戦略センター機関研究員、同助教を経て 2013 年より現職。主な著書に『都市を生きぬくための狹知一タンザニアの零細商人マチングの民族誌』（世界思想社、2011 年）、『「その日暮らし」の人類学—もう一つの資本主義経済』（光文社新書、2016 年）。Web 春秋にて「チョンキンマンションのボスは知っている—香港のアングラ経済と日本の未来」連載中。



3

椿昇（つばきのぼる）

現代美術作家、京都造形芸術大学教授・美術工芸学科長 瀬戸内芸術祭の醬+坂手地区ディレクターを始め、数多くのワークショップ設計を手がける。



4

シロくま先生（しろくませんせい）

アートディレクター、京都造形芸術大学准教授京都造形芸術大学のワークショップ授業をけん引するトップファシリテーター。



5

広報用画像

画像 1～5 を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いたします。